

◆AO入学選考エントリー&
夏のオープンキャンパスに向けて!!

企画広報室 小林 寿美子

皆さん、こんにちは！暑い日が続いていますね。夏休み、どのように過ごしますか？社会人になるとお休みは本当に貴重なものになります。勉強でも遊びでもアルバイトでも就職活動でも有意義に過ごせるといいですね。

さて、本学では、6月2日(月)よりAO入学選考のエントリー受付が始まっています。オープンキャンパスに何度も足を運んでくれる高校生もいて、キラキラと輝いた目で将来のことを考え質問する姿を見て、未来をこれから決められる喜びに満ち溢れているなど感じる今日この頃です。

サマーオープンキャンパスでは多くの学生にアシスタントをお願いしています。ご協力ありがとうございます。自分たちが高校生のときにどんなことを考えていたのか思い出しながら、見学に来る未来の後輩たちにあなたがいアドバイスや激励の声をかけてあげて下さいね。高校生にとって「先輩と触れあえる」というのは、とても嬉しいこと！人は第一印象2秒で決まるといわれています。皆さんの明るい笑顔と挨拶で学校への好感度も倍増です。

今年8月3日(日)に「あ」の「GREE」から数々の有名ゲームを手がけているアートディレクターの園田和弘さんをお迎えしてソーシャルメディアに関する講演会を開催します。一流企業の社会人として成功を果たしている人がどのような考えを持ち、仕事に取り組んでいるのかお話を聞ける機会は、学生にとってそうはないと思います。高校生以外も参加自由ですので、ゲーム好きな電子情報カレッジの学生はお友達を誘って、福祉医療の学生も分野は違えど、このチャンスお聞き逃しなく！ふるってご参加ください。

また、皆さんの後輩に「将来、電子情報/福祉医療の分野を目指したい！」という方がいましたら、是非オープンキャンパスへの参加を勧めてあげて下さい。楽しく体験授業に参加しながら、進路を決定していければ良いですね。また、企画広報室では自分たちが高校生の時に「こんなオープンキャンパスがあったら参考になったのにな」といったご意見を募集します。同じ若い世代の目線で気づくこともたくさんあると思うので、ぜひぜひご意見聞かせてください。皆さんの力で、中村学園を更に盛り上げていきましょう！宜しくお願いします！

★サマーオープンキャンパス開催★

- ・8月 3日(日) 9:30~12:00 ⇒ 特別イベント!!
- ・8月 20日(水) 13:00~15:00 あ「GREE」の講演会を開催★
- ・8月 30日(土) 13:00~15:00

★だいいちテレビ見学ツアー開催★

- ・8月 26日(火) 13:30~15:00 ⇒ 映像・音響に興味のある方
- ※定員 10名先着順です!! 参加をお待ちしています!!
- ※×切 8月 18日(月)

★オープンキャンパス★

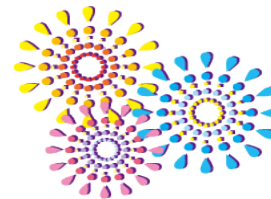
- ・8月 7日(木) 17:00~18:00
- ・9月 7日(日) 9:30~12:00
- ・9月 20日(土) 13:00~15:00
- ・9月 26日(金) 17:00~18:30

※保護者対象説明会、学費等納付金・奨学金説明会も同時開催※



8月の行事

- 1日(金) 3TW 第5期実習 ~8/30(土)
2MIS 夏季病院実習 ~8/30(土)
- 3日(日) サマーオープンキャンパス 9:30~12:00
- 6日(水) 前期試験・講義 ~8/8(金)
- 7日(木) オープンキャンパス 17:00~18:30
- 8日(金) 登校日(大掃除 13:30~)
PCビジネス科①修了式
- 9日(土) ☆託児所：夏季休校 ~8/17(日)
- 13日(水) 夏季休校 ~8/17(日)
- 20日(水) サマーオープンキャンパス 13:00~15:00
1CP 保育実習1(保育所)事前研修(20時間)~8/27(水)
- 30日(土) サマーオープンキャンパス 13:00~15:00
☆託児所：有



9月の行事

- 1日(月) 登校日(防災訓練・大掃除)
追再試補講期間 ~9/12(金)
- 2日(火) 1・2CP 後期授業開始
2CP 施設実習事前実習 ~9/5(金)
- 3日(水) 1TW・CW 第1期実習 ~9/13(土)
- 6日(土) ☆託児所：有
- 7日(日) オープンキャンパス 9:30~12:00
- 8日(月) 1CP 保育実習1(保育所) ~9/13(土)
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 後期開始
- 18日(木) 常業系統別講座 13:10~15:00
- 20日(土) オープンキャンパス 13:00~15:00
- 22日(月) 体育集中⑧
- 23日(火) 秋分の日
- 24日(水) 3CP 実習科内報告会
- 25日(木) J検 CBT
- 26日(金) オープンキャンパス 17:00~18:30
2CP 保育実習I(施設)1グループ ~10/12(日)



◆「この夏に決める」という強い意志で、
広がるチャンスを活かそう!

進路室 橋野 幸男

「人手不足経済」(『日本経済新聞』H.26.4.27)、「超人手不足時代」がやって来る」(『NHKスペシャル』H.26.7.19)一。最近の報道で目にするタイトルです。

政府・中央銀行(日銀)が一体となった政策発動によって、我が国経済は「デフレ脱却」を窺うところまで復調してきました。一方、「人口減少社会」が進行するなか、「生産年齢人口」の減少が加速化しつつあります(H.25.10.1 現在で、32年ぶりに8,000万人を下回る)。このような諸々の要因が相まって雇用情勢は一変し、各分野で「働きたい人の不足感」が強まっています。

4月に発表された「来春新規学卒者の求人倍率」も「1.61」とメルクマールとされる「1.5」を上回り、数字上は「売手市場」(企業よりも学生が優位)となっています(リクルートワークス研究所。前年は「1.28」)。中堅・中小規模企業の採用意欲が大幅に高まったのを中心に、全企業規模で採用予定数が前年比で増加しています。

また、7月に入ってから、本学に求人を下さる企業があります。このように、雇用情勢は、新しいステージへと変化したのです。そして、議論されている女性・高齢者や外国人の活用も重要ではありますが、その前にまず、若い皆さんの労働参加と活躍を、社会は期待しています。皆さんのチャンスは、広がっているのです。

さて、本学学生についてみると、もっと活動を活発に行なってきてほしいと思う学生が散見されます。その理由は、以下のとおりです。

まず、就職活動は、「広げて、絞る」が原則です。社会には、様々な企業・組織や仕事が存在しています。「机上の自己分析」ではなく、外に出て行って様々なものに出会い、「自分をつくっていく」と同時に、自分の力を発揮しようと思う志望の分野・企業等を絞っていくことが重要です。

次に、「就職活動は、仕事のやり方を学ぶ絶好の機会だ」ということです。物事に着手する前に計画を立てる、何が重要か優先順位を考える、つまづいた時にフォローアップする、相手に訴求したい点を分かりやすくまとめる一。すべてで、学生が成長する可能性があります。「人の能力に大きな差はない。大事なのは、『良い習慣は、才能を超える』ということだ。就職活動中から良い習慣を身に付ければ、就職後の仕事もうまくいくはずだ」(元・東レ経営研究所社長 佐々木常夫氏のインタビュー記事から)。例えば、企業にアピールしたいことを履歴書やエントリーシートにまとめる作業は、社内の報告書や取引先向けプレゼンテーションの資料を作成することに通じます。どの企業等が自分に合うかを考え調べる作業も、取引先開拓や提携先を調査するときの行動に応用できま

す。逆に言えば、就職活動という「考え、努力・行動する習慣」が身に付く機会を十分に活かさない者は、自分が成長できる絶好のチャンスを見逃していることになるのです。

さあ、卒業年次の学生は、「この夏に決める」という強い意志で、「合同企業面接会」や「新卒ハローワーク」に出かけてください。様々な人事担当者等と出会い、そして、あなたの「やる気」をアピールしてください。また、学校求人やハローワークの求人票を探索してください。雇用市場の変化をチャンスとして、また、就職活動の意義を理解して、内定獲得に向け頑張ってください。1年生は、「御殿場宿泊研修」で『より良い就職をするために』(『なりたい自分になるために』)というテーマに、グループで取り組みました。作成した図解が、各ホーム教室に掲示してあります。この夏、一人ひとりが、前期の学生生活で学んだこと・考えたことを基に、この図をバージョンアップしてください。つまり、「なりたい自分をデザインする」のです。そして、そのデザインにしたがって、ボランティアや各種活動に取り組んで、「考え、努力・行動する習慣」を身に付けてください。「なりたい自分」を「デザインする → つくっていく → なる」という成長の途を、この夏から歩み始めましょう。

◆卒業生を囲む会を終えて

◇開催趣旨

進路指導の一環として在校生と卒業生を囲み座談会を通して職業観を養い、進路意識の高揚を図る。また、教職員も卒業生と交流をや情報交換を図ることで、現場把握の機会とし、学生指導に活かす。



◇参加卒業生(4名)

氏名	病院・施設名	職種
池ヶ谷 美樹 (平成23年度卒)	社会福祉法人聖母福祉会 清水聖母保育園	保育士
藤原 陽菜 (平成23年度卒)	社会福祉法人庄栄会 中泉保育園	保育士
大榎 紅穂 (平成24年度卒)	社会福祉法人エミリー7 静岡乳児院	保育士
加茂川 仁美 (平成25年度卒)	学校法人中村学園 第一ひかり幼稚園	幼稚園教諭

◇参加学生

子ども心理学科の全学年

◇卒業生のお話

就職活動について

- ・実習にいくなかで、保育園、幼稚園だけに絞らず、乳児院等の施設など、視野を広げてみた。
- ・求人待つのではなく、園に直接出向き自ら活動した。

今の仕事についての魅力・大変さなど

- ・子どもたちの日々の成長を身近に感じられることが、やりがい。
- ・子どもの生活行動、生活習慣を考えて行動するのが大変だが、魅力にも感じる。

学生生活との大きな違い

- ・1日の時間の使い方が全く変わった。限られた時間の中で、仕事を終わらせるため、計画的に効率よく動くようになった。
- ・「一歩家から出れば先生」という意識するようになり、行動すべてに責任をもつようになった。

学生たちへのアドバイス

- ・授業も学校生活もすべて学び。学びを充実させておくと、実際の職場に役立つことがたくさんある。
- ・学校生活で、たくさん学び自分の引き出しを増やすと良い。
- ・「挨拶」は意識して生活してほしい。どんな職場でもまずは挨拶からなので、当たり前のこととして身につけてほしい。
- ・「全人教育」は大いに生かされているので大切にしてほしい。

子ども心理学科 1年 戸田 大貴

今回、卒業生を囲む会を通して、社会にでてからは、資格取得や教材作成は難しいと教えていただきました。ですから、この学生生活で与えられた3年間をいかに有意義に活用し、勉強や実習だけではなく様々な資格に挑戦し、将来に役立つペーパーサートや、パネルシアターなどの教材を1つでも多く作成したいと思います。そして、目標をしっかりと持ち、今自分の出来ることを精一杯、全力で取り組んで行きたいと思います。将来の自分の為に、この3年間を充実したものにしていきたいです。

子ども心理学科 2年 藁科 真理

今回、卒業生を囲む会で先輩方の話を聞いて、様々な事を考えることができました。

幼稚園に就職して1年目の先輩は、クラスを受け持ち、且つ保護者と子どもからの信頼を得ていて素晴らしいと感じました。子ども達全員の様子を見て、安全面に気を付け、保護者を安心させることは実際に行うのは非常に大変だと思います。ですから、その様な先輩の保育の姿勢は非常に見習いたいと感じました。

乳児院2年目の先輩は、在学時の実習を通して、保育園・幼稚園の道から施設実習へ視点を変えたと話を聞き、日々取り組んでいる保育者になるための知識やスキルは実践を通して、自分に一番合った保育の道を選択することが大切だと感じました。

保育園3年目の先輩は、園が開園したときに就職したとのことで、驚きました。園の全てを1から作っていくことは私では到底想像に及ばない大変な点があったと思います。その中で、園の理

念と自分自身の理想とする保育士の姿として向き合うことのできる先輩を本当に素晴らしいと思いました。

また、もう一人の保育園3年目の先輩の話の中で、日々子どもたちと接する中で、一層子どもを預かるという責任感が大きくなり、立場の重みの認識が更に強くなっているのだと伝わりました。

卒業生の話を聞いて、改めて保育という仕事のやりがいや素晴らしさを感じることができました。そして、自分の目指す理想の保育士像に近づけるように、これからも有意義な経験を積み、素敵な保育士になりたいと思います。

子ども心理学科 3年 清 奈々美

卒業生を囲む会に参加して、改めて就職について真剣に考えることができました。保育所実習、施設実習、教育実習とすべての実習を終えた3年生は、就職活動を本格的に始める時期であり、多くの不安や悩みを抱えています。このような時期に、先輩方から就職についてや、学校生活の中で身につけること、学生と社会人の大きな違い等のお話を伺うことによって、自分が今何をすべきか更に明確にすることができました。

自ら就職先を多く見つけ、実際に足を運び直接話をする。今の授業の内容をしっかりと自分のものにする。また、社会人になるにあたって敬語、言葉遣い、日々メリハリのある生活をする等、自分に必要な課題や学校生活での在り方を見つめ直すことができました。実りある貴重な時間となり、とても感謝しています。ありがとうございました。

◆第5期実習に向けて

総合福祉学科 3年 林 加奈美

いよいよ第5期実習が近づいてきました。総合福祉学科は3年生に進級してから福祉とは何か、相談援助とは何か学んでいます。今までとは少し異なった視点から福祉を学ぶ中迎える実習は、期待や楽しみがある一方で不安も大きなものがあります。

この第5期実習は今まで経験してきた介護実習とは視点が変わり、利用者様の生活全体や環境を捉えること、その方のこれから先の生活や人生を考えていく姿勢が求められます。その中で相談援助職が多職種連携の要として、いかに相手の生活を尊重した支援ができるか学んでいきたいです。そして、具体的な対人援助の方法や社会資源の活用など授業の中で教わってきたことを、現場を「見る」だけでなく「学び」や「理解」ができるよう、常に「自分ならどうするか」を考えながら実習に臨みたいと思います。記録の作成や個別支援計画の立案など不安な面も多々ありますが、笑顔と明るい挨拶を忘れずに12日間の実習を内容の深い充実したものにしていきたいです。

また同時に夏に入り就職活動も本格化してきました。クラス内にも内定を決めた人達が段々と増えてきています。実習と就職活動が重なったことに対する焦りと不安は拭えませんが、この正念場を乗り越え一回り成長できる夏となるよう邁進していきたいです。